（大正十四年十二月一日第三種郵便物認可）　昭和六年十一月十五日　平新報　第百四拾壹號　【一】

平新報

發行日　毎月三回　五ノ日發行
編輯兼發行印刷人　山野邊庄吉
發行所　福島縣平町字堂下目六　平新報社
廣告料　五號十二字詰一行　一回五十錢　場所指定倍增
一部定價金拾錢　送料　五厘

皇國の危機に奮起せよ

新聞に雜誌に凡そあらゆる言論機關は一齊に對支強硬論でつきて居る、滿洲は日本の心臟だ、生命線だといふ事が一般に漸く認識されて來たのである、生命線なればこそ生命を脅かすものに劍を持つて起つのは當然すぎる程當然である。支那は言ふであらう、日本は侵略的意志を以て滿洲に兵を進めて居ると、言ふ勿れ滿洲の野に埋るゝ十萬の同胞の英靈は、實に飽くなきロシアの侵略を阻止して東國を信じて撤兵を先きにせよ洋平和の確立を期さんが爲めに拂はれたる尊き犧牲ではなかつたか、且つての日清戰役後の三國干涉の態度と、世界平和の爲めにか、今假面を被り仲裁の美名にかくれて爲されたる惡辣の手段は、亦々祖國の頭上に下されんとして居るのだ。あ時何ぞ默然たるを得ん、堂々たる正義の主張も、精鋭が如き實國的政黨を存在せしむる勿れ。

二十億の國財と、十萬の血に彩られ骨をさらして得たる滿蒙の權益も年々歲々に政黨の弗箱と化せしめたればこそ、今此の窮境に陷つき落されたのだ、國家の爲めにと叫んで喜んで死に得る日本民族のみがもつ最大の幸福を

×光線科

福島縣醫院
磐城平町南町
電話二二九番

民族闘爭の事實の前には何國際聯盟を脫退せよ、かく等の用をなさず机上の空論て九千萬の骨を積むも祖國に終らざるを得ないのだ。の爲めに戰へ。

今や野獸的暴戾なる支那兵の爲めに滿蒙の戰雲刻々に急迫を告げつゝある時、世界平和を基調として立つ國際聯盟は再び來十一月十日を以て開かれんとす、のに劍を持つて起つのは當然すぎる程當然である。支那は言ふであらう、日本は侵略的意志を以て滿洲に兵を進めて居ると、言ふ勿れ滿洲の野に埋るゝ十萬の同胞の英靈は、實に飽くなきロシアの侵略を阻止して東國を信じて撤兵を先きにせよ洋平和の確立を期さんが爲めに拂はれたる尊き犧牲ではなかつたか、且つての日清戰役後の三國干涉の態度と、世界平和の爲めにか、今假面を被り仲裁の美名にかくれて爲されたる惡辣の手段は、亦々祖國の頭上に下されんとして居るのだ。あ時何ぞ默然たるを得ん、堂々たる正義の主張も、精鋭が如き實國的政黨を存在せしむる勿れ。

二十億の國財と、十萬の血に彩られ骨をさらして得たる滿蒙の權益も年々歲々に政黨の弗箱と化せしめたればこそ、今此の窮境に陷つき落されたのだ、國家の爲めにと叫んで喜んで死に得る日本民族のみがもつ最大の幸福を

かく我等は熟望して已まない、されど如何に國民の血は沸き立つも、當局政治家の血潮の一向に炎え切らぬのはどうした事であらう此れ程の正論をもち乍らダ〳〵の彼告的立場に追ひ事件（記事差止中）發生せりとの噂あるではないか。

世論がう〳〵として幕末にも比す可き國家の現狀に慨然として、憂國の熱に燃ゆる青年の起つ可き秋は來る、起てよ青年正義の爲めに！

天皇の偉大なる恩德に培はれつゝ三十年の文化は燦然として光を放つ、天皇の國に生れ、天皇の光に浴し得る光榮何物に比せん。

今度の事變の導火線を爲す去る九月十九日の曉寬城子の激戰に於て、我金子上等兵は敵彈に貫通銃創を受けて倒れ、一語をも發し得ず、流るる血潮を以て軍隊手帖に「天皇陛下萬歲」と書いて絶命したといふ、あ地球上世界の國々は多しと雖も、天皇の爲めにと叫んで喜んで死に得る日本民族のみがもつ最大の幸福を

なる哉政黨、國民の血は沸き肉は躍つて到るところ「政黨亡國」「政黨國難」の悲壯なる聲は勃然として起つた、久しく起らんとしては赤裸々なる國民の立場に起つて大衆的憂國運動をおこし、力強き國論の統一をはかりて國難打開の第一線に起たんとす、眞實なる國民の聲はやがて滿蒙の戰野に迸り、或はジュネーヴの國際議場に反映されん、眞に國を憂るの士よ、來りて相共に國家の前途を論ぜん

（六、一一、一四）

福島縣湯本町三函二七三
立憲養正會磐城支部

訂正

磐中校長橋本文壽氏は今回大森勇氏夫妻媒酌の下に土浦女學校に職を奉ずる高木貞子女史と婚約成り近々華燭の典を擧げる由である

× × ×

磐中の生んだ陸軍參與官代議士比佐昌平氏は陸軍省から滿洲守備隊の慰問使としてこの拾五日から三週間の豫定で長春から吉林、公主嶺、鄭家屯の方面まで行く相である、

× × ×

本紙前號報導石城郡農會が分場共會存置に就くと報ぜしは農試分場のみにて農會の存置運動云々は誤聞につき正誤して置く

政黨中心の現代政治を排撃して日本本來の姿たる天皇中心の政治の實現を急げそは一刻も早く眞に國を思止さるゝにあらずやと懸念した地方有志殊に郡農會では役員會を開きそれが存置運動に過般郡農會長諸橋久太郎氏町村長代表伏見彦衛氏縣參事會員井上茂作氏等出縣して陳情運動をなしたが同分場は廢止せぬ由である、そ

日はこれ又誤植

× × ×

農事試驗場石城分場が廢止さるゝにあらずやと懸念した地方有志殊に郡農會では役員會を開きそれが存置運動に過般郡農會長諸橋久太郎氏町村長代表伏見彦衛氏縣參事會員井上茂作氏等出縣して陳情運動をなしたが同分場は廢止せぬ由である、そ

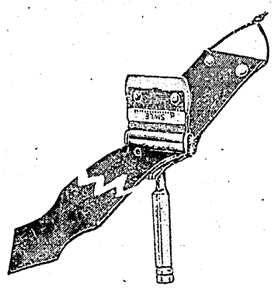
れが當然の事で地方農事指導機關としてなくてならぬもの今更それが必要と成績等を呼號するまでもあるまい。

移轉御通知

謹啓今般都合に依り左記の處に轉居致しました

平町一丁目六番地
「起市屋」荒物店裏
平新報社
山野邊庄吉

度量衡販賣
液体空氣會社製
酸素含有量（百分中九九五）
（東京工業試驗所證明）
吸入用酸素、酸素吸入器
體溫器 寒暖計 聞診器 藥局
電話四〇番



新製品 ヨツト安全剃刀
研器兼用
皮砥付
替刃三枚付
1.00

平町五丁目
釜屋商店
電話九番・九九番

混砂搗白米販賣禁止（滋賀縣下）
山野邊無砂搗精米所
電話三一八番

學級減を豫知した 磐中同窓、父兄會 試驗地獄を救ふべく

十七日出縣陳情

縣緊縮豫算編成のため母校磐城中學校が昭和七年度より一學級つゝ五年後に五學級減ぜられ都合五學級となり二十五學級の全國的誇りある同校が二十學級となるを知りそれでなくとも入學應募者過大にして落第の憂目を見るもの益々深刻化さるゝを知つた同校同窓會はどうしてもこの兒童の試驗地獄を救濟せねばならぬとの見地から縣當局の反省を促すべく當石城選出萩原野崎各縣議を歷訪しそれが善後策を協議しつゝあつたが一應知事當局に陳情する事とし十七日縣議野崎滿藏氏と同窓會代表、會長諸橋久太郎、關内正一、新田目春松、山田盤麿、山野邊庄吉。父兄會代表、阿部政右工門、柴田德二、酒井淸、諸氏出福仙台より來合せた縣議井上茂作氏、滯福中の田子健吉氏と共に縣廳に川崎知事、川久保學務部長、石川課長に左の如き反對意見書を交附して極力磐中の學級現狀維持存置方を力說陳情したが尙は石城地方關係者は、事敎育問題のため、政黨政派を離れて今後とも縣議諸氏を動かし目的貫徹のため運動を續ける事であらふ。（十七日眞立記）

本縣人口百五十萬の約七分の一を占め、縣會議員を選出すること六名なり。實に縣費負擔額に於ても人口に於ても縣下第一位を占むる石城郡を他の一般郡市と同一視すべからざるや明かなり。さればにや磐中に學ばんとして志願し來る者過去十ヶ年を通じ多きは七百六十九名に達し、少くも三百五十二名を下らず。その過去十ヶ年の平均は實に五百七十五名なり。かく多數の志願者あるに因り、自然入學難を招來し、地方人士之れを憂ふる所甚だしく、遂に學級增加を要請するの聲切に起り、大正十四年度より從來の四學級（二百人）募集を改めて五學級（二百五十人）の募集となし以て今日に至れり。

然るに今日突如として縣は財政の整理を名とし、その學級數を減じ四學級（二百人）の募集となし、五ヶ年の後には二十學級の學校たらしめんとす。吾人之れを耳にして甚だ遺憾とせざるを得ざるなり。熟々思ふに時代は敎育の普遍化を要求し、成るべく多數者に敎育の機會を與へんとす。これ所謂敎育の機會均等なり而して本年の如き財界不況を叫ばるゝ時に於ても三百六十名の志願者あるにも拘らず、之れが學級を減ぜんとするは甚だ理解なく同情なきものなりと云はざるを得す。何となれば之れにより我が郡下に於ける父兄母姉及び子弟は皆等しく脅威を感じ入學難の苦痛を加へ少くとも百五十名以上入學し得ざるものを出すに至るべければなり。

縣に於ては磐中と等しく會津、安積の兩校をも各一學級宛を減じ、それにより應募者の少數なる安達、田村の如き學校志願者を增加せんと考ふるものなりと傳へらる。果して然らば之れ實に郡下多數の子弟をして安達、田村の犧牲たらしむるものにして斷じて忍ぶべからざる所なり。郡下多數の父兄は平に中學の存在することにより自巳の子弟を自家より通學せしめ、之れを敎育し之れを監督し得るものなり。然るに今玆に學級の減少を見んか、特にこの不景氣に直面したる秋、鄕里を離れて遊學せしめ得るもの極めて少く、その多くをしてその志を倦ましむるに至る。而して田村、若くは安達に學び得る者も、それが爲めに父兄は多額の費用を要し、特に監督不行屆となり、時に子弟を傷ふるに至る。豈痛心に堪へざらんや。飜つて思ふに縣は財減不足の補塡策として中學校の學級整理を斷行するものゝ如くなれども、之れ亦不合理と云はざるを得す由來敎育は一時の財政問題や政治問題として取扱はるべからざる國家百年の大計なり。然れども今一歩を讓り縣財政上より考ふるに一學級を減ずるにより昭和七年度には敎職員一名の減員となり校費其他を合せ約千六百圓の歲出減とならんも歲入に於て一ヶ年二千二百圓（一人一ヶ月四圓、五十人、十一ヶ月分）の授業料を減じ、差引約六百圓の損となる之れを五ヶ年を通見するも却つて縣に於ては收入減の結果となるものゝ如し。今百歩を讓り縣は幾分支出減となるとしても、その額僅少たるべし。之れが最高額を見積らんか、磐中一ヶ年の豫算六萬六千五百圓（昭和六年度）にして授業料の收入約五萬圓あり。故に縣の支出額は壹萬六千五百圓に過ぎず、これを二十五の學級數に按分し五學級分を減ずるも年額三千三百圓に過ぎず、（實際學校に於ては學級數を減ぜられてもその費用を減じ得ざる修繕料、電燈料、電動力料、通信運搬費賄費等あり）この少額の財源を捻出せんがために、我が石城郡下より二百五十名の犧牲者を出す。之れを思へば洵に痛恨に堪へざるものあり。又縣當局に於ては過去十ヶ年に他府縣より六百八十五名一ヶ年平均六十八名の志願者ありその數は一學級以上なれば一學級を減ずるも可なりと說けりと云ふ。然し之れ實に甚だしき不條理なり。

何となれば過去十ヶ年の志願者六百八十五名ありと雖も、この學校に入學したるものは僅かに百八十六名又他府縣志願者一ヶ年平均六十八名ありと雖も過去十ヶ年の入學志願者は平均五百七十五名なり。今他府縣志願者の全部を斷りても五百七名なる多數の志願者あり。然らば二百五十名を募集するも二倍以上の志願者あるにあらずや。又之れを最近の事實を見るに、過去五ヶ年間に他府縣よりの志願者百〇二名にして入學者三十四名、昭和五、六年度に於て、他府縣志願者僅かに十二名、入學者四、五名に過ぎず、而してその志願者全部を引去るも猶百名内外の過剩志願者あり。然るに今俄かに募集人員を減ぜんとするは非條理も亦甚しと斷ぜざるを得ず。尙又二十五學級を以て一學校を組織するは敎育統制上大に過ぐるとなすものあり。これ勿論一面の眞ならん。敎育的に一學校は十學級若くは十五學級を以て理想的なりとなすならば本郡の如きは尙一校を新設するを理想とせん。然るに今それを爲さず。唯學級數のみを減ぜんとするは郡下子弟を禍するものなり。之れを要するに我が磐中の學級を減ぜんとするは如何なる方面より考察するも妥當なる理由を發見し得ず。依て吾人は斷乎として立ち敢へて絕對反對の意見を發表し賢明なる縣當局の反省を促し、濟々多士たる縣會議員諸君の善處を希望して已まざるものなり。敢へて玆に表明す。

磐城中學校同窓會

磐城中學校の學級減に對する反對意見

我が磐城中學校は明治二十九年四月の創立に係り爾來年を閱すること三十有六卒業生を出すこと約三千、國家に貢獻しつゝあり。

而して我が石城郡の縣費負擔額は一ヶ年六拾四萬圓（昭和四年度）郡山市と安積郡とを加へたる約一、七倍双葉郡の約三倍、相馬郡の約一倍半にして縣費總額五百六十萬圓の九分の一强を占む。又その人口は二十一萬、郡山市と安積郡とを加へたるものゝ二倍、双葉郡の三倍强、相馬郡の二倍、

【音信交換】

前磐中敎頭 山崎氏より

諸橋同窓會長宛

謹啓 秋色益々深く相成申候處御一家皆々樣には益々御淸適の段賀し奉候扨而小生儀磐城中學校在職中は公私共に多大の御庇護御聲援賜はり御蔭樣にて前後九ヶ年間幸に大過なく勤務致すことを得申候事誠に有難く深く感銘致し居り候今回双薬中學校へ參り候に就ては身に餘る盛大なる送別會を御開催下され候さへ汗顏の至りに御座候に加いて多大の御餞別まで頂戴仕り且つ停車場まで御見送り下され何と御禮の申樣も御座なく只々感謝致居る次第に御座候甚だ至らぬ者には候へ共之れを御緣に何卒將來共に御誘導御交誼賜はり度く伏して願上奉候當地は御承知の通り田舍の事にて至つて淋しくやつと日用品を間に合はせ居る次第に御座候只海濱には少しく近く諸戸の濱には一寸の時間にて出られ申候に付夏分なり是非共御來遊の榮を得たく御待申し居り候小學校には鈴木佐忠先生居られ伊澤校醫本多少佐も當校配屬にて磐中干係の方々多く心强く感じ居り申候本多少佐は先般風邪の氣味なりしに腎臟を惡しく致し只今欠勤靜養中に有之申候大した事もなくすむとは考へ居り候へ共心配致し居り候

實は早速御禮申述可きの處片付けその他の雜務に追はれ遂に心ならずも延引の段御海容の程を伏して願上奉候先は亂筆をも顧みず御禮の言葉申上げ併而將來共に何分共によろしく御願いたし度く斯くの如くに御座候尙同窓會の皆樣へよろしく

敬具

山崎光雄

諸橋久太郎樣

× × ×

當り年の 井上茂作氏

順風に帆を揚げた如き當り年の井上茂作氏は先に縣議戰に第一位、消防功績賞次いで縣參事會員、地方山林委員を贏ち得たが十五日仙臺に於ける樺太、北海道東北六縣の大日本消防第一區の代議員會に同氏は滿場一致常議員に選ばれたと

片倉磐城製糸 廿三日始業式

二十三日午前十時より片倉磐城製糸會社では平月見町の同社で始業式を擧行す

新築移轉 **謝恩大賣出し**

十一月廿二日ヨリ廿六日マデ粗景呈上

毎々御引立を頂き難有御禮申上ます豫て三丁目に新築中の弊店愈々落成移轉致しました。就ては平素の御愛顧に報ゆるため謝恩大賣出しを催し格安品を豐富に提供致します何卒賑々しく御來店の程偏に御願申上ます。

おつとめ品

絹朱子トンビ	八圓五十錢ヨリ
新毛トンビ	四圓八十錢ヨリ
オーバ	三圓八十錢ヨリ
モヂリ	二圓五十錢ヨリ
色セルコート	三圓五十錢ヨリ
大人クリヌキマント	三圓八十錢ヨリ
ラシヤ子供マント	二圓ヨリ
極上シールマント	二圓ヨリ
襟毛	四十錢ヨリ

▼特別大廉賣品▲

オーバ	三圓均一
セビロ三揃	五圓均一
子供オーバ	一圓半仝
防水マント	五十錢仝

ふかや洋服店 平町三丁目 電話二〇三番